

2015年第 2 回定例研修会報告

滋賀森林インストラクター会

日時 2015年7月5日(土)
場所 蒲生郡竜王町鳴谷溪谷周辺
参加者 滋賀会：小西、佐々木、関澤、高橋、平田、水田
京都会：久山、篠部、

内容

名神の竜王インターを降りると、目の前に広大な商業施設・三井アウトレットパークとその駐車場が広がっています。

今回の研修会は、この施設と隣り合わせにある、鏡山への手軽なハイキングコースで知られる、鳴谷溪谷と呼ばれる溪流沿いです。

いきなり、駐車場の法面に出ていたキノコを誰かが目ざとく見つけ、早速研修の始まり。

オオシロカラカサタケ

熱帯性であるが、温暖化とともに北上。



淡いクリーム色で傘に筋が見える

コガネキヌカラカサタケ



続いてこの日出現した主なキノコを紹介します。

次の3枚は、いずれも溪流入口近くの公園で見つけたもので、赤が大変鮮やかな **ベニヒガサ**



こちらは、薄暗い藪に白が
鮮やかな **シロイボカサタケ**



アウトレットの進入路脇に咲いていた**ネムノキ**
中央から立ち上がっている太い筒の中に蜜がある。
この筒の先が頂生花であり、微かに芳香。
頂生花以外は見せかけで、蜜はない。
ピンクの糸状のものは、実は雄しべだそうです。



研修地に移動中の川の土手で見つけた
シロヘリツチカメムシの集団。赤い方は
幼虫。環境省RDBの準絶滅危惧種。



同じ土手で見つけた**スミレ**の群生と種子。
はじける前の種子が見られてラッキー。



以降研修地に入って観察したものを順次・・・。

ツマグロヒョウモン



オトシブミ



ワモンサビカミキリ



ラミーカミキリ



ケヤマハンノキ



シャシヤンボの花



オオパノトンボソウ



カキラン



希少種のヒモヅル



イソノキの実



この虫は、研修の折り返し点である鳴谷池に浮いていたもの。普通であれば、アメンボなどと間違えて見過ごしてしまうでしょうが、これはアメンボと違って**キクヅキコモリグモ**というれっきとしたクモ。ちなみにキクヅキは菊月で8月のこと。

脚に、水をはじく毛が生えているので水に浮かぶことが出来るとのこと。

研究熱心な参加者による発見です。



写真で紹介できなかったものを名前のみ列記します。

ウワミズザクラの実、アオハダの実、コケオトギリ、イシモチソウ、サギソウの葉、ズミの実、アケビの実、サルトリイバラの実、ヘビノボラズの実、モウセンゴケ、トウカイモウセンゴケ、スノキの実、ナツハゼの実、トキシソウの実、サワシロギクの葉、マルバアオダモの実、キイボカサタケ、セマダラコガネ、コフキコガネ

今回の研修は、ご紹介したように観察対象が多種多様で、大変実入りの多い研修であったと思います。

ただ残念だったのは、善意でやられたであろう散策道の整備で、草や樹木が手当たり次第に刈り払われ、サギソウなどの希少種まで無残な姿をさらしていたこと。

いま一つは、オフロードバイクが入り込んで来ること。侵入禁止の看板と、車止めがしてあっても無視して入ってくる不心得者のいることです。

こういう課題もあることを実感した研修でもありました。

報告書をまとめるにあたり、小西塾長、関澤さん、平田さんからは写真や情報を提供いただき、ありがとうございました。

なお、次回研修日は9月6日（日）の予定です。参加をお待ちしています。

(報告：佐々木)



大人遊び？ 今回の研修風景
金もかからず一日遊べます。